

■議事概要

□日時：平成31年3月26日（火）17：30～20：00

□場所：生田緑地整備事務所 □参加者：14名

□議題：1. 竹林地区【A08】の西側、畑跡地の利用等について 2. 初山周遊散策路植生管理計画と実施プログラムシートについて 3. ハチ類との共生に向けての考え方 4. 市民部会報告と事務局承認 5. 日本民家園 危険木の調査結果と来年度の予定。太田家の耐震補強工事に伴う緑地の使用について。 6. ヤマザクラ・オオモクゲンジ実生苗移植報告 7. その他

■今回の協議事項

1. 竹林地区【A08】の西側、畑跡地の利用等について

●地元町会より、子供たちの環境教育を目的とした畑としての活用の要望が出ており、整備事務所より利用上の注意事項を先方に伝えたことの報告。それについて、単純に市民菜園のような形に流されるのではなく、公的資産である都市公園として、例えばヤマユリを種から育てるなど自然の保全に資する活動を交えて主体的に行動していただくことが望ましい等の提案が出た。（継続協議）



2. 初山周遊散策路植生管理計画/同実施プログラムについて

●前回の協議を受けて、その目標植生に基づき、ゾーン毎の実施プログラム案が指定管理者より出された。

「8.初山周遊散策路 園地的利用区」

ウメ・アンズ等の落葉果樹、ミカン等の照葉果樹を維持。管理担当は指定管理者とする。

「9.初山周遊散策路 竹林利用区」

高低差の大きい地形である為、土壌流出の懸念がある。モウソウチク林として維持するが、林床についてはタマノカンアオイやマヤランなどの草本が育つ環境を確保する。管理担当は指定管理者ですが、飛森谷戸の自然を守る会に協働を提案中。

「10.初山周遊散策路 雑木林保全区」

中低木層の落葉樹を含む適度に管理された樹林を目指し、コナラ群落、ケヤキ群落を中心とするブロックから構成され、落葉広葉樹の中低木と草本を増やしていく。植物でキンラン、生物でヤマトタマムシが保全対象となり、シュロ、モウソウチク、アズマネザサを管理対象種とする。

担当団体は、指定管理者。

「11.初山周遊散策路 遷移観察区」

ブロックとしての目標植生は、将来的に照葉樹林（シラカシ群落）へと遷移をすすめ、周囲の雑木林と行き来する生物の生息空間として管理された樹林。近隣住宅隣接地については、安全性に配慮し維持管理された樹林。植物でシラカシ、ウラジロカシ、ケヤキ、生物でムラサキシジミが保全対象となり、シュロ、モウソウチク、アズマネザサを管理対象種とする。

担当団体は、指定管理者。

上記内容が承認されました。

(3) 目標植生案



3.ハチ類との共生に向けての考え方

●ハチの生態について来園者の皆様にご理解をいただくための基本事項を確認しました。来園者の皆様には是非知っていただきたいこととして以下のようにまとめられました。

①原則的にハチ類はこちらが攻撃しない限り、いきなり刺してくることはありません。

②原則外の危険なハチ

- ・アシナガバチ類：いきなり刺してくることがあるので注意が必要です。



キアシナガバチ



フタモンアシナガバチ



セグロアシナガバチ



コアシナガバチ

③刺されにくいハチ（例）

- ・コマルハナバチ（み）

触って観察することができます。

触ってハチに興味を持った会員もいます。



コマルハナバチ

④生田緑地では、100種類以上の多様なハチ類が生息している場所です。トラマルハナバチという住宅地ではあまり見かけない種類も確認されており、学生のハチ研究の場としても恵まれています。

生田緑地で見られるハチ（例）



セイヨウミツバチ



ニホンミツバチ



ヒメスズメバチ



コガタスズメバチ



トラマルハナバチ

4.市民部会報告と事務局承認

●平成30年度里山倶楽部A及び里山倶楽部Bの活動報告と平成31年度の活動計画が発表されました。市民部会は市民が生田緑地の自然を保全する植生管理をレクリエーションとして楽しむ機会をつくり、保全活動を通して生田緑地の自然を楽しんでもらう活動を行います。2009年の話し合いに基づいて、飯室山南地区の皆伐更新、萌芽更新地区での萌芽更新を観察できる雑木林への再生という二つの大きな課題はおおむね解決できたと考えています。新年度は初心に帰り、生田緑地を観察し課題を探り、植生管理を考えることに重点を置いた活動にしたいと考えます。これらの内容を受け平成31年度の活動計画は承認されました。

報告事項

- 民家園内の危険木調査結果を共有しました。リストにあるツノハシバミについて、自生であれば貴重であるため保護する必要があることを確認しました。今後、詳細は図面を基に再協議を行っていきます。
- 2020年秋に予定している、民家園太田家の耐震補強工事の情報を共有しました。太田家付近は野鳥の営巣や通り道になっていることを確認しました。今後、詳細は施工計画を基に再協議を行っていきます。
- 2019年2月上旬に北口竹林皆伐跡地に移植したヤマザクラ実生苗5本と、伝統工芸館裏手に移植したオオモクゲンジ実生苗4本について、全て芽吹き葉を出し無事活着したことが報告されました。
- 例年実施の長者穴口竹林皆伐区モウソウチク駆除作業について今年も実施する旨、情報共有しました。

その他

●整備事務所周辺及び民家園内で電話が通じない状況があり、調査によってソフトバンクに限定し電波が届いていないことがわかりました。中継アンテナを設置するにあたり候補場所が示されましたが、景観上好ましくないという意見があり、再検討することとなりました。

■今後の予定

- ・次回の自然会議は5月を予定しています。